

令和4年度行政事業レビューシート ( デジタル庁 )

<b>事業名</b>	預貯金口座情報提供等業務交付金			<b>担当部局庁</b>	デジタル社会共通機能グループ	<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始年度</b>	令和3年度	事業終了 (予定)年度	令和5年度	<b>担当課室</b>	ID認証・マイナンバー班 預貯金口座2法T	参事官 柳沢信高			
<b>会計区分</b>	一般会計								
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	公的給付の支給等の迅速かつ確実な実施のための預貯金口座の登録等に関する法律(令和3年法律第38号)第15条 預貯金者の意思に基づく個人番号の利用による預貯金口座の管理等に関する法律(令和3年法律第39号)第13条			<b>関係する 計画、通知等</b>	デジタル・ガバメント実行計画(令和2年12月閣議決定) デジタル社会の実現に向けた重点計画(令和3年12月閣議決定)				
<b>主要政策・施策</b>	-			<b>主要経費</b>	その他の事項経費				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	預貯金口座への付番を円滑に進める仕組み及び公金受取口座の登録の仕組み等の実現								
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	公的給付の支給等の迅速かつ確実な実施のための預貯金口座の登録等に関する法律(令和3年法律第38号)及び預貯金者の意思に基づく個人番号の利用による預貯金口座の管理等に関する法律(令和3年法律第39号)の施行に向けて、預金保険機構が実施する各金融機関等との間における、預貯金口座に係る情報の連絡を行う仕組みや、預貯金者の個人番号等の通知を行う仕組み等の構築に充てるための交付金								
<b>実施方法</b>	交付								
<b>予算額・ 執行額</b> (単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算							
		補正予算							
		前年度から繰越し							
		翌年度へ繰越し							
		予備費等							
	計		0	0	0	0	0		
	執行額				195				
	執行率(%)		-	-	-				
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		-	-	-				
<b>歳出予算目</b>		令和4年度当初予算	令和5年度要求	<b>主な増減理由</b>					
<b>令和4・5年度 予算内訳</b> (単位:百万円)									
	計		0	0					
<b>活動内容 (アクティビティ)</b>	預金保険機構が実施する各金融機関等との間における、預貯金口座に係る情報の連絡を行う仕組みや、預貯金者の個人番号等の通知を行う仕組み等の構築を行う。								
<b>活動目標及び 活動実績 (アウトプット)</b>	<b>活動目標</b>	<b>活動指標</b>		<b>単位</b>	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込
			活動実績						
			当初見込み						
<b>単位当たり コスト</b>	算出根拠			<b>単位</b>	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	/			単位当たり コスト					
				計算式	/				
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	<b>定量的な成果目標</b>	<b>成果指標</b>		<b>単位</b>	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度
			成果実績						
			目標値						
			達成度	%					

根拠として用いた統計・データ名(出典)											
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標	定量的な目標が設定できない理由				定性的な成果目標と令和元年～令和3年度の達成状況・実績					
		本交付金は、預金保険機構におけるシステムの整備経費に充てるものであり、定量的な目標の設定が困難である。				(目標)国、預金保険機構及び各金融機関において円滑な情報連携を実施するため、預金保険機構において、法令の施行に向けて必要となる機能を備えたシステムを適切に整備する。 (令和3年度実績)預金保険機構において、事業目的に即し必要な機能の詳細を記載した仕様書等に基づき、適切な調達を実施した。					
	事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度	
		法令の施行に向けて必要となる機能を備えたシステムを適切に整備する。	法令の施行までに必要な機能を備えたシステムの整備を完了する。	実績	億円	-	-	-	-	-	
目標値					億円	-	-	-	-	-	
達成度	%				-	-	-	-	-		
政策評価	政策	政策2(情報通信技術等の適正・効率化に関する施策の推進)									
実施	2-①情報システムの整備	政策評価書 URL	-								
		該当箇所	-								
事業所管部局による点検・改善											
		項目	評価	評価に関する説明							
国費投入の必要性		事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	預貯金口座への円滑な付番を進めたうえで、相続時や災害時に国民が口座の所在を確認できる仕組みを創設し、また、公金受取口座の登録により、給付における申請手続の簡素化や、給付の迅速化を実現するものであり、国民や社会のニーズは高い。							
		地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	預金保険機構のシステムは、金融機関やデジタル庁との連携を実現するシステムであり、当該システムの整備に当たり、高度なセキュリティ対策や経済的合理性を実現するためには、国が実施することが適切な事業である。							
		政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	預貯金口座への円滑な付番を進めたうえで、相続時や災害時に国民が口座の所在を確認できる仕組みを創設し、また、公金受取口座の登録により、給付における申請手続の簡素化や、給付の迅速化を実現することは、優先度の高い事業である。							
事業の効率性		競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	法令上、預金保険機構に対し、交付金を交付することができるものと定められている。							
		一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。									
		競争性のない随意契約となったものはないか。									
		受益者との負担関係は妥当であるか。	-								
		単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-								
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-								
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	執行額は、交付対象事業に対するもののみであることを確認している。							
事業の有効性		不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-								
		繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-								
		その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-								
		成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-								
事業連		事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-								
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-								
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-								
		関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-								
点検・改善結果	点検結果	預貯金口座への付番を円滑に進める仕組み及び公金受取口座の登録の仕組み等の実現に向けて、預金保険機構と連携し、事業を行うことができています。									
	改善の方向性	今後も引き続き適正な予算執行に努めつつ、事業目的の達成を図りたい。									

外部有識者の所見

—

行政事業レビュー推進チームの所見

現  
状  
通  
り

事業の有効性・効率性・成果について、適切かつ的確に検証し、効率的執行に努めるべき。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現  
状  
通  
り

引き続き事業の有効性・効率性・成果について適切かつ的確に検証し、効率的執行に努める。

備考

—

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度				
平成24年度				
平成25年度				
平成26年度				
平成27年度				
平成28年度				
平成29年度				
平成30年度				
令和元年度				
令和2年度				
令和3年度				

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)

デジタル庁  
195百万円



A. 預金保険機構  
195百万円

預金保険機構が実施する各金融機関等との間における、預貯金口座に係る情報の連絡を行う仕組みや、預貯金者の個人番号等の通知を行う仕組み等の構築

費目・使途 （「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載）	A.預金保険機構			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	交付金	預貯金口座情報提供等業務交付金事業	195			
計		195	計		0	

#### 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	預金保険機構	2010005002591	預貯金口座情報提供等業務交付金	195	補助金等交付	-	-	